

## 令和5年度 大田区地域ケア会議区レベル会議について

## 1 参集・ウェブ・書面の併用による会議開催にあたっての意見聴取について

令和5年8月25日（金）開催の「大田区地域ケア会議区レベル会議」について、参集型会議、WEB会議および書面会議の併用にて開催することとした。

書面参加の委員には、会議資料と同時に意見書用紙を送付し、令和5年8月22日（火）を期限に意見書の提出を依頼した。

あわせて、参集・WEB参加の委員にも事前意見・質問票を任意で提出できることとし、いただいた意見・質問については、以下のとおり一覧としてまとめた。一覧は、委員及び庁内委員に会議の参考資料として電子メール等で送付、情報提供する。

## 2 各委員からの意見・質問

下記に、各委員からいただいた意見をまとめる。

資料 番号	ご意見・ご質問	回答
参考資料 ①	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「他にどのような社会参加方法が考えられるのか？」等</li> <li>*参考資料：世田谷区 認知症当事者のための社会参加型プログラム参照</li> <li>・コンセプト等 <ul style="list-style-type: none"> <li>・区主導の企画</li> <li>・認知症高齢者、家族が住みやすい地域に寄与する</li> <li>・企画を通じて、関係各位お互いにWINWINになること</li> </ul> </li> <li>・建付け <ul style="list-style-type: none"> <li>・1つのプログラム（ボランティア）として展開</li> </ul> </li> <li>・案 <ul style="list-style-type: none"> <li>・人材不足で悩む事業所や（高齢者、障害者、児童分野等）区民活動団体等の、当該企画を希望する事業者先に、プログラムとして、またボランティアとして関わる。</li> </ul> </li> </ul>	<p>他自治体の事例をもってのご意見等をいただき、ありがとうございます。</p> <p>認知症高齢者等と地域の事業者・団体、それぞれが便益を享受できるような仕組みづくりが重要と考えられます。</p> <p>皆様にご意見をいただきながら、引き続き、検討してまいります。</p>

	<p>例：近隣の高齢者分野の事業所でのボランティア 例：近隣の商店や商店街での軽作業ボランティア 例：近隣保育園、児童館でのボランティア</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・コーディネートやサポートをする窓口が必要です。何処かはアイデアありません。新たに創設も視野に入れる必要があるかもしれません。</li><li>・連携協先は、ボランティアセンターとシルバー人材センターの連携により、当事者と受入可能な事業所をマッチングする。</li></ul>	
--	---	--